

津付ダムだより

代替国道1号橋を施工中です。

津付ダムの建設に伴い国道が通れなくなるため、現在代替国道を建設中です。

代替国道は、延長約2.7kmで、区間にトンネルと橋梁をそれぞれ3つずつ計画しています。

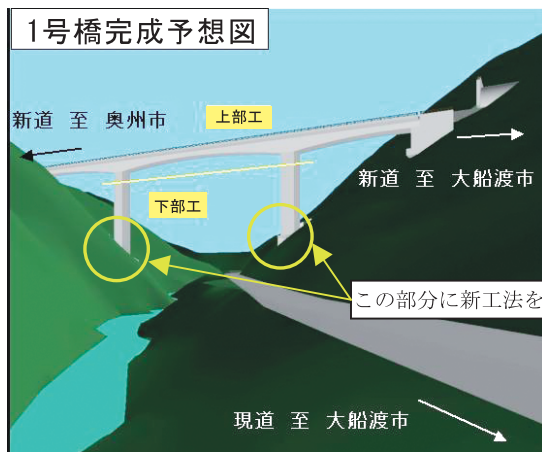
今回は、代替道路で最初の橋となる『1号橋工事』を紹介します。

1号橋は、代替国道延長約2.7kmのうち住田側から約0.9kmの地点に建設される長さ140mの橋です。

橋の工事は、大きく分けて上部工と下部工の二つの工事に分かれており、現在、下部工の部分を工事中です。

平成23年5月頃に下部工が完成し、引き続き上部工工事を実施し、橋全体としては、平成

24年度内に完成する予定です。



1号橋下部工では、県としては初めての「竹割り構造物工法」を採用しています。

この工法を使うことにより、工事で掘削する範囲を少なくして、周囲の樹木を可能な限り残した状態で工事を行います。

発行所

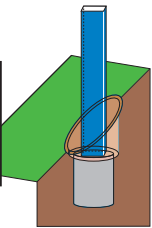
沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター
津付ダム建設事務所

お問い合わせ先

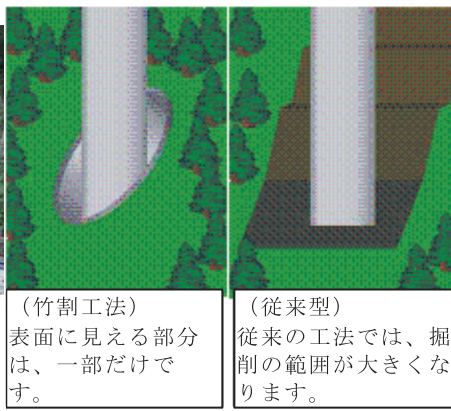
〒029-2311
気仙郡住田町世田米
字川向 102-1
TEL 0192-22-8182
FAX 0192-46-3715

津付ダム公式ホームページ
<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

橋を支える、基礎は地中深くにしっかり作っています。



橋を支える、大切な部分を「かぐや姫」のように大事に守っています。



(竹割り工法) 表面に見える部分は、一部だけです。

(従来型) 従来の工法では、掘削の範囲が大きくなります。

住田生コン(有)の協力でコンクリートの現場試験を実体験しました。



土木関係の高校生を対象にした見学会を開催しました。
1号橋下部工工事では、9月14日に、県立花巻農業高校の環境科学科1年生41名を対象とした現場見学会を開催しました。
今回の見学会は、土木関係の高校生を対象としているため「生コンクリートの現場試験の体験」専門的な技術の実験をメインとして実施しました。
建設工事のイメージアップの一環として、工事を実施している高惣建設(株)の主催として実施しました。
請負者の現場担当者が熱血指導しました。



気仙川水系河川整備手法比較表の説明

津付ダム日より平成21年12月号（第11号）に掲載した「気仙川水系河川整備手法比較表」の補足説明を行っています。この表は、平成21年度に行われた大規模事業評価専門委員会での審議に使用されたものです。

今回も前号に引き続き、事業の概要について、着目します。

（ダム＋河川改修案→津付ダム建設と河川の改修を組み合わせる案）をA案、（河川改修単独案→河川の改修のみで対策する案）をB案として比較しています。

		（ダム＋河川改修案） A案	（河川改修単独案） B案
事業概要	整備計画 1/30整備に 必要な工種①	ダム（重力式ダム（流水型）） 高さ48.6m 長さ165.0m、堤体積105,000m ³ 河川改修（掘削面積 40,000m ² ） ・延長 L=9.3km ・掘削工 V=17,000m ³ ・護岸工 A=6,000m ² ・築堤工 V=104,000m ³ ・橋梁架替 N=1橋	河川改修（掘削面積 237,000m ² ） ・延長 L=10.8km ・掘削工 V=313,000m ³ ・護岸工 A=43,000m ² ・築堤工 V=141,000m ³ ・橋梁架替 N=2橋
	1/70整備に 必要な追加工種②	河川改修（掘削面積 406,000m ² ） ・延長 L=11.6km ・掘削工 V=755,000m ³ ・護岸工 A=61,000m ² ・築堤工 V=80,000m ³ ・橋梁架替 N=4橋	河川改修（掘削面積 342,000m ² ） ・延長 L=13.6km ・掘削工 V=999,000m ³ ・護岸工 A= 76,000m ² ・築堤工 V= 73,000m ³ ・橋梁架替 N=6橋
	基本方針 ①＋②	ダム（重力式ダム（流水型）） 高さ48.6m 長さ165.0m、堤体積105,000m ³ 河川改修（掘削面積 446,000m ² ） ・延長 L=11.6km ・掘削工 V=772,000m ³ ・護岸工 A=67,000m ² ・築堤工 V=184,000m ³ ・橋梁架替 N=5橋	河川改修（掘削面積 579,000m ² ） ・延長 L=13.6km ・掘削工 V=1,312,000m ³ ・護岸工 A=119,000m ² ・築堤工 V=214,000m ³ ・橋梁架替 N=8橋

段階的整備の計画として、今後20年程度の期間での整備を目標とした「気仙川河川整備計画」は、治水安全度を概ね30年確率（1/30）としています。また、気仙川の河川整備の最終目標（河川整備基本方針）では治水安全度1/70としています。

この、治水安全度1/70の整備に必要な工種を記述している、表の3段目について説明します。

A案では、ダム下流全川にわたり水位低下の効果がある津付ダムと河川改修で1/30の整備をします（表1段目）。次に1/70を確保するための河川改修（表2段目）を追加し、合わせて河川改修（掘削面積446,000m²、延長11.6km、掘削土量772,000m³、築堤土量184,000m³、護岸工67,000m²、橋梁架替5橋）の実施が必要と試算しました。（完了予定は平成116年度＝西暦2104年度）

B案は、津付ダムを整備せずに河川改修のみで1/30の整備をし（表1段目）、さらに1/70を確保するための河川改修（表2段目）を追加し、合わせて（掘削面積579,000m²、延長13.6km、掘削土量1,312,000m³、築堤土量214,000m³、護岸工119,000m²、橋梁架替8橋）で対策するとしたものです。（完了予定は平成161年度＝西暦2149年度）

付替国道のホームページを作成しました。

付替国道工事の進捗状況などを下記アドレスから御覧頂けます。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580/tuduki-road/>